

愛の便り

校訓: 志が人生を創る

PTA 総会へのご参加ありがとうございました

ニュースを見ていると「10連休」という言葉も聞こえてきますが、学校はそういうわけにはいきません。カレンダー通りのお休みと授業が交互になります。そういう意味では、今回の3連休はGW前半(その1)といったところでしょうか。新学期の疲れも少しは取れたでしょうか。



一方で、各部活動では大会に参加した部もあり、入部直後の1年生の出番もあったようです。貴重な経験ができたことでしょう。入賞の賞状も数多く届いています(表彰は後日紹介します)。金曜日からGW後半(その2)です。体調面の管理やペース配分など難しそうですが、その点も意識して過ごしてほしいところです。体育大会まであと3週間、中総体まで1か月とちょっと。休養をしっかりとりながら万全を期して臨んでほしいと願っています。

さて、先週末はPTA総会ならびに部活動振興会総会を開催しましたところ、お忙しい中にもかかわらずご参加いただきありがとうございました。当日は52名(去年は44名)の来校をいただきました。また、その週は授業参観週間でしたが、期間中の参観者は延べ77名(1年:33名、2年:21名、3年:23名)でした。ちなみに、去年は80名でした。

平日の日中開催とあって、仕事の関係上なかなか出席が難しいことは重々承知の上ですが、総会というにはやや寂しい感じがしたのは正直なところ。参加が叶わなかった保護者も多数おられることから、総会の冒頭でお話したことに触れさせていただきます。

保護者の関心や協力体制はごく限られた方々に集中し、「できる人、やりたい人に任せればいい」「あの人がするだろう」の空気が感じられ、年々二極化が進んでいる気がします。現に役員決めも毎年難航し、選考規約を改正しても膨大な時間と労力を要している現状です。また、少子化に伴い子どもがいない自治会も出てきており、代議員選出にも支障をきたしています。さらには、学年・学級代表者の選出にも従前のやり方では問題が生じたり、専門部活動が停滞したりなどの実態も浮上してきています。コロナ禍での活動休止や縮減が拍車をかけたのか、またはそれが今も引きずっているのかはわかりませんが、少なからずその影響が否定できない中、PTA組織そのものの在り方を考え直さなければいけない時期に来ていることは間違いないようです。



このことについて、事務局より

- 「保体部」を「行事協力部」へと変更すること(会則第15条)
- 地区代議員は1名とし、役割の軽減を図ること
- 学年部長の選出時期と役員数の減員
- 安心メールやアンケートフォームなどの利活用促進などを提案し、審議を経て承認をいただきました。今後も実

雲仙市立愛野中学校 学校便り

令和6年 4月30日

第84号

文責(校長;末永栄喜)



態に即した機能的な組織になるよう模索していきたいと思っています。

また、総会の場を借りて私なりの「学校経営方針」についても述べさせていただきました。校長(責任者)として、どんな学校を創っていきたいのか、どんな生徒に育てたいのかについてです。

このことは、年度初めにも先生方にお話したのですが、私の持論である「学校は『まみれる場』である。」という内容について触れさせていただきました。



やがて社会の一員となる生徒たちの可能性を伸ばすために、学習面や生活面において鍛え、磨く場が学校であることは自明の理です。また、変化の激しい社会を生き抜くための社会性や協調性を兼ね

備えた豊かな人間性を醸成することも必要不可欠です。心身ともに大きくたくましく成長する中学校時代に徳・知・体のバランスある教育活動を行い、生徒たちを鍛えながら一人一人のもつ可能性を伸ばしていきたいと思っています。

思春期の多感なこの時期に、友達同士のぶつかり合いやすれ違いは誰にもあります。もちろん、その度に私たちも指導や助言をしますが、自力で何とか解決したり次のステップへ進んだりできる力を身に付けてほしいと思うのです。また、きついことに背を向けたり、汚れることを嫌がって避けたりする傾向にある現代の子どもたちです。そんなことにも正面から向き合い、進んで身を投じてほしいと思うのです。私が3Cの「Challenge」を強調する意味はそこにあります。

故に、「汗にまみれ、泥にまみれ、人にまみれる場」が学校であり、たくさんまみれて遅くなってほしいと思うのです。

もう1点、私が本校に着任して以来、基本理念にしていることについても話をさせていただきました。それが、

「愛の3きょう施策」です。

◆「共」← 生徒とともに、同僚とともに、保護者・地域とともに

共鳴 共感 共創 共有 共育 共同 共想

◆「協」← 教職員・生徒・保護者の3つの力を合わせて
協力 協働 協調 協創 協奏 協和

最後の「協和」には、

「心を合わせて仲良くすること」、「同時に鳴らした二つ以上の音が、よく調和して響くこと」という意味があります。

◆「今日」← 常に「今」を考えて

- ・明日のために、今日できることはないか
- ・その時、その場、その日のうちに

・将来を見据え、今しなければいけないことは何か

毎年度、そして毎学期職員に話していることです。こんな思いで子どもたちを導いていきたいと考えます。4月も終わりになりましたが、保護者の皆さまのご理解とご協力をあらためてお願いします。

